

平成27年度 進路だより

わくわくワーク 第2号

平成28年1月8日
しらとり支援学校
進路支援部

寒い日が続きますが、皆さま穏やかな新春をお過ごしのことと思います。今回は、1学期末から2学期に行われた、本校の進路支援に関する活動についてお知らせします。

『先輩こんにちは』 9月30日(水)

企業、就労継続支援 A 型事業所と B 型事業所で働く卒業生を講師として招いて、仕事の内容や、やりがいなどについて話を聞きました。高等部1～3年生は、実社会で働く先輩たちから話を聞いたり、質問をしたりしてとても有意義な時間を過ごすことができました。

<先輩方のお話より>

○仕事をしていてうれしかったこと、やりがい

- ・新しい仕事ができるようになったこと
- ・仕事で褒められたこと

○仕事で頑張っていること

- ・速く、完璧に仕事をする

○給料の使い道

- ・友達と遊ぶ
- ・DVDを借りる、買う
- ・ジュースやパンを買う
- ・家族に食事をごちそうする

○しらとりで学んだこと

- ・礼儀や挨拶
- ・時間を守る
- ・電車やバスの乗り方

○後輩たちにアドバイス

- ・学校生活を楽しんでください
- ・就業体験を頑張ってください



先輩方の働きぶりを紹介します。



<平成25年度卒業生 A さん>

〔勤務先〕 ダイト株式会社

医薬品の包装材料の確認と運搬をしています。仕事は衛生面に大変気を遣うところで、仕事の前にほこりやごみを落とし、エアシャワーに入ります。職場の上司から、「はきはきと挨拶ができ、礼儀正しく、周りの人の良い手本になっています。」とされています。



<平成25年度卒業生 B さん>

〔勤務先〕 就労継続支援 A 型事業所 きよら

プラスチック部品の検品や、車の部品の袋詰めと袋のシーラー掛けをしています。速く丁寧に仕事をするように心掛けています。職場の方からは、「無遅刻無欠勤で、全ての面で成長しています。」とされています。



<平成24年度卒業生 C さん>

〔勤務先〕 NPO法人知的障害者の暮らしを考える会わくわくファームきらり
部品の組み立て、箸入れ、ねぎのテープ巻きや袋詰めなどの仕事をしています。いつもニコニコしていて、職場のアイドルのような存在だそうです。

「進路学習会」(中2. 中3教員対象)

8月24日(月)

昨年度は、中学部の卒業学年である中学部3年生の教員を対象としていましたが、今年度は、2年生の生徒に対してもよりよい進路支援ができるようにと対象を中2、中3の教員に拡大し、進路についての学習会を行いました。

高等部の校外就業体験の体験先や卒業生の進路先、企業と福祉の最近の動向について、そして、生徒一人一人に合った進路先がどのように決まっていくのか、中学部段階で子どもたちに身に付けておいてほしいことなどを意見交換しました。

企業と福祉の就労に関する最近の動向

近年、雇用契約を結び、原則最低賃金がもらえる就労継続支援A型事業所の開設が目立ち、卒業生の進路先や就業体験先となるケースが増加しています。

就労継続支援B型事業所への就労については、今年度から相談支援事業所との連携のもと、在学中に就労移行支援事業所でのアセスメントを受けるという手順を踏むこととなりました。

「進路学習会」(寄宿舎指導員対象)

8月12日(水)

寄宿舎では、集団生活の中で基本的な生活習慣を身に付け、友達と関わりをもち、安全で健康な生活ができるように支援しています。舎で身に付けた生活面のスキルは、卒業後の働く生活の基礎となり、将来につながることを確認しました。また、具体的な指導方法として、本人の実態に合わせて環境を整えたり、分かりやすい手掛かりやできたことを褒め合えるツールを使ったりすることを検討しました。

卒業生特集～アフターケア～

本校では、高等部卒業後3年間、アフターケアのため、卒業生の進路先を定期的に訪問しています。これは、家庭や関係支援者と連携し、卒業後の進路先への定着を図ることを目的としています。今回は、頑張っている卒業生の様子をご紹介します。

スーパーマーケットに就職したDさん(平成25年度卒業生)

売り場で商品の品出しや惣菜作りの仕事をしています。遅刻や欠勤もなく真面目に仕事に取り組んでいます。サッカーチームに所属し、プレーしてリフレッシュしています。

就労継続支援B型事業所を利用しているEさん(平成24年度卒業生)

部品組立ての仕事をしており、挨拶、返事、報告を心掛け意欲的に仕事に取り組んでいます。たまに給料で家族にお寿司をごちそうしました。

生活介護事業所を利用しているFさん(平成26年度卒業生)

毎日休まず通い、最近では笑顔も見られるようになってきました。リサイクルの作業では支援員の方に体の高さに合った台を作ってもらい、作業しやすい姿勢で取り組むことができます。

第2回高等部就業体験（11月9日～20日）報告

11月9日から2週間にわたって行われた第2回就業体験では、2、3年生は校外の企業や福祉事業所、1年生は校内の特設作業班で体験しました。その様子を報告します。

3年生

事業所から、「卒業したら来ていいよ！」という内定を得ることを目標に頑張りました！

一般企業：ジョーシン富山本店

<内容>POP作成補助、モップ掛けなど

<実習の様子>

店内商品のほこりをモップできれいにしたり、商品のPOP広告のラミネート加工をしたりしました。ほとんどが立ち仕事でしたが、最後まで頑張ることができました。

「仕事が丁寧だ。」と褒めていただきました。



生活介護：第1あすなろ

<内容>ビーズ通し

<実習の様子>

ワイヤーにビーズを通す仕事をしました。1ミリくらいの大きさのビーズをたくさん通して、おわら踊りをしている人形の着物の部分を作ることができました。

「根気強く集中している。」と褒められました。



2年生

2回目の校外就業体験。1回目の課題を改善し、3年生につながる体験を目指しました！

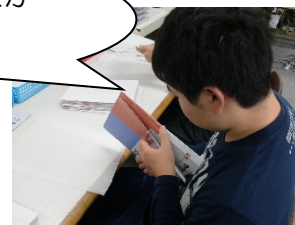
就労継続支援A型：ほまれの家奥田店

<内容>数かぞえ、両面テープ貼りなど

<実習の様子>

ますのすしの箱を数えたり、箱を組立てるための両面テープ貼りをしたり、いろいろな作業を経験しました。苦手な作業でも、根気よく繰り返すうちに、ペースを上げてきれいに仕上げることができるようになりました。

「分からない時に質問することができた。」と褒められました。



就労継続支援B型：つばさの郷

<内容>菓子工房内作業、箱折り作業

<実習の様子>

菓子工房内でドーナツ型に油を塗ったり黒豆を三つずつ入れたり、お菓子袋にシールを貼ったりしました。箱折り作業では、手順を覚えて利用者の方と一緒に作業することができました。

「長時間、続けて作業できた。」と褒められました。



1年生

校内で就業体験を行いました。今回は通常の作業学習班ではなく、「ワークトレーニング班」、「農作業班」、「箸入れ班」、「リサイクル班」、「リテーナ班」の五つの特設作業班に分かれ、実際の企業や福祉事業所で行われている内容を体験しました。2週間続けて作業できることを目標に頑張りました！

校内就業体験：特設作業班（箸入れ班）

箸入れ班では箸入れとボールペンの組立て・分解の作業に取り組みました。班全体で、1週目は「丁寧に正確な作業をする」「衛生的に作業をする」、2週目は「一人で作業を続ける」「スピードや目標の数を意識する」という目標を掲げて作業に取り組みました。日々成長が見られて自信をつけたり、今後の課題を見つけたりすることができた有意義な体験となりました。

キャリア教育研修会

第2回就業体験直前の11月2日(月)に、『就業体験中に巡回指導を行う本校教員はどのように支援をしたら良いのか、ジョブコーチの方法論から学ぶ』ことをねらいとして、本校教員を対象としたキャリア教育研修会を行いました。

講師は、大阪市にある社会福祉法人加島友愛会の酒井大介さん。ジョブコーチとして多くの就労支援のケースに取り組み、現在は就労移行支援事業所を立ち上げて就労支援に取り組んでおられます。1時間半にわたり、ジョブコーチの就労支援プログラムについて具体的にお話をいただきました。

「障害のある人と職場環境のアセスメントをしっかりと行い、両方の最適な組み合わせ(ベストマッチ)を作りだすことを目指しましょう。」「就業体験では、しっかりと仕事が行えるという『職務の遂行』が大事。自立的に取り組めるように、仕事内容や職場のルールを生徒に分かりやすく教えましょう。」「分かりやすく教えるには、技術『システムティックインストラクション』というのがあり、仕事の手順を細かく分けた『課題分析』に基づいて、言語指示や見本の提示などの支援方法を組み合わせ、最小限の支援で自立的に仕事ができるようにしましょう。」「体験先では、周りの人から本人への自然な関わり、手助け(ナチュラルサポート)が得られるように仕組んでいきましょう。」など実際に就業体験の支援につながる有意義な研修となりました。



高3進路学習会

12月2日(水)に富山市障害者福祉センター基幹相談支援室相談支援専門員の松本卓也さんをお招きして、高等部3学年進路に関する学習会を行いました。松本さんには約2時間にわたり、高等部3学年の生徒、保護者、教員を対象としたお話をいただきました。

5時間目帯を利用し、保護者と本校教員約30名が参加した講義「卒業後の生活について」では、「卒業後の進路先(企業・A型・B型・自立訓練・生活介護)とそれに伴う相談機関について」や「卒業後に受けられる福祉サービス・障害基礎年金と手続きについて」など、幅広い内容のお話をいただきました。また、今年から特別支援学校の卒業生が就労継続B型を利用する際、新たに在学中に就労移行支援事業を利用する必要があることを受けて、手続きの流れについても、詳しくご説明していただきました。保護者・教員にとって今後のスケジュールや手続きについて振り返り、卒業後の生活に見通しがもてる内容でした。

6時間目帯を利用した生徒向けの進路相談会では、進路別に二つのグループに分かれて、卒業後の生活についてスライドを交えながら丁寧にお話していただきました。生徒たちは、真剣な表情で話を聞き、時には松本さんからの質問に積極的に答える場面もあり、とても有意義な時間を過ごすことができました。